

1

人口



**総人口** 1-01  
907万2533 人

**指標** 神奈川県は2009年7月に900万人を超え、2013年1月1日現在では907万2533人（男性454万3244人、女性452万9289人）です。

3年前の2010年1月1日より6万4401人（0.7%）増加し、2005年1月1日より32万3802人（3.7%）増加しています。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]

**用語** 総人口

日本国内に常住している全人口（外国人を含む）のことで、一般的に人口といえば総人口のことをいいます。

なお、外国人のうち外国政府の外交使節団・領事機関の構成員や外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除きます。

**神奈川県の人口の推移**

本県の人口は、1902年に100万人になり、37年後の1939年に200万人と倍増し、その後太平洋戦争を挟み17年後の1956年12月に300万人となりました。

1960年頃からは、県内への労働者の転入等により人口が急激に増加し、400万人には7年（1963年12月）、500万人には4年9か月（1968年9月）、600万人には4年8か月（1973年5月）で到達しました。

その後、本県の人口増加は徐々に緩やかなものになり、700万人には、8年2か月（1981年7月）を要し、800万人には、9年7か月（1991年2月）を要しています。

そして、バブル経済の終焉とともに人口増加は、一段と緩やかなものとなり、800万人到達から18年5か月後の、2009年7月で900万人を超えました。

**神奈川県の人口が大台に達した年月等**

| 人口          | 100万人            | 200万人            | 300万人               | 400万人               | 500万人              | 600万人              | 700万人              | 800万人             | 900万人              |
|-------------|------------------|------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 到達年         | 1902年<br>(明治35年) | 1939年<br>(昭和14年) | 1956年12月<br>(昭和31年) | 1963年12月<br>(昭和38年) | 1968年9月<br>(昭和43年) | 1973年5月<br>(昭和48年) | 1981年7月<br>(昭和56年) | 1991年2月<br>(平成3年) | 2009年7月<br>(平成21年) |
| 前到達年からの所要年数 | —                | 37年              | 17年                 | 7年                  | 4年9か月              | 4年8か月              | 8年2か月              | 9年7か月             | 18年5か月             |

**人口密度** 1-02  
3755人/km<sup>2</sup>

**指標** 2013年1月1日現在の神奈川県の人口密度は3755人/km<sup>2</sup>です。

43年前の1970年10月1日現在の2295人/km<sup>2</sup>の約1.6倍となっています。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]  
[国勢調査]

**用語** 人口密度（総面積1km<sup>2</sup>当たりの人口）

人口密度＝総人口／総面積

**世帯数** 1-03  
**1世帯当たり人員** 1-04  
390万6589世帯  
2.32人

**指標** 2013年1月1日現在の神奈川県の世帯数は、390万6589世帯です。43年前の1970年1月1日現在の146万9259世帯の約2.7倍となっており、推移をみると増加傾向にあります。

一方、1世帯当たりの人員は2.32人です。こちらは、1970年1月1日現在の3.60人より1.28人減少しており、推移をみると減少傾向にあります。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]

**用語** 1世帯当たり人員

1世帯当たり人員＝総人口／世帯数

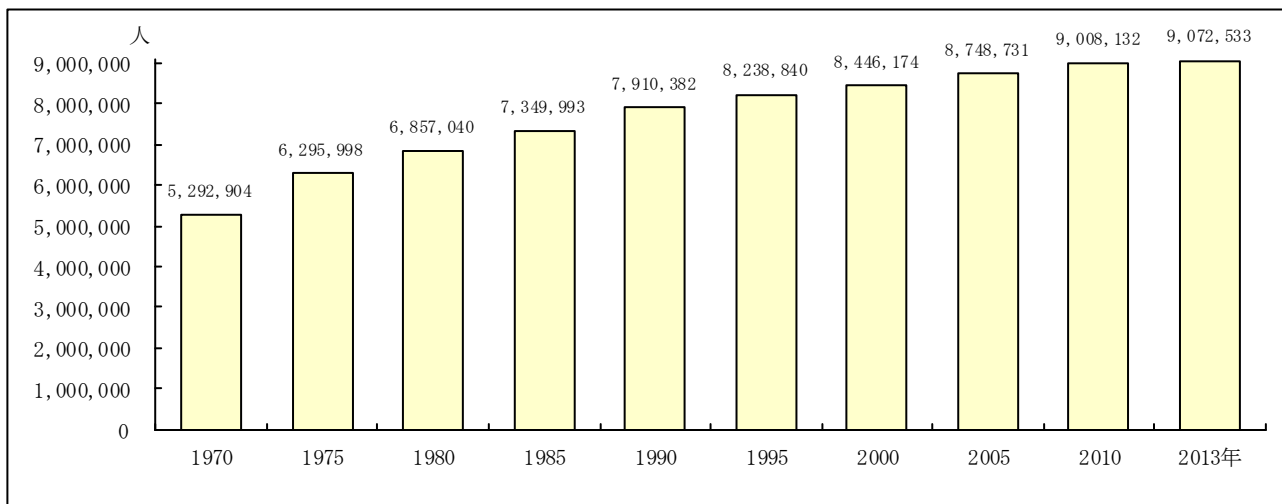
**統計情報** 神奈川県人口統計調査[年間集計結果]

神奈川県人口統計調査[年間集計結果] [県統計センター]  
公表周期：毎年  
県の人口と世帯は月次で公表されますが、その年間合計が年間集計結果になります。年間の人口増減とその要因がわかります。

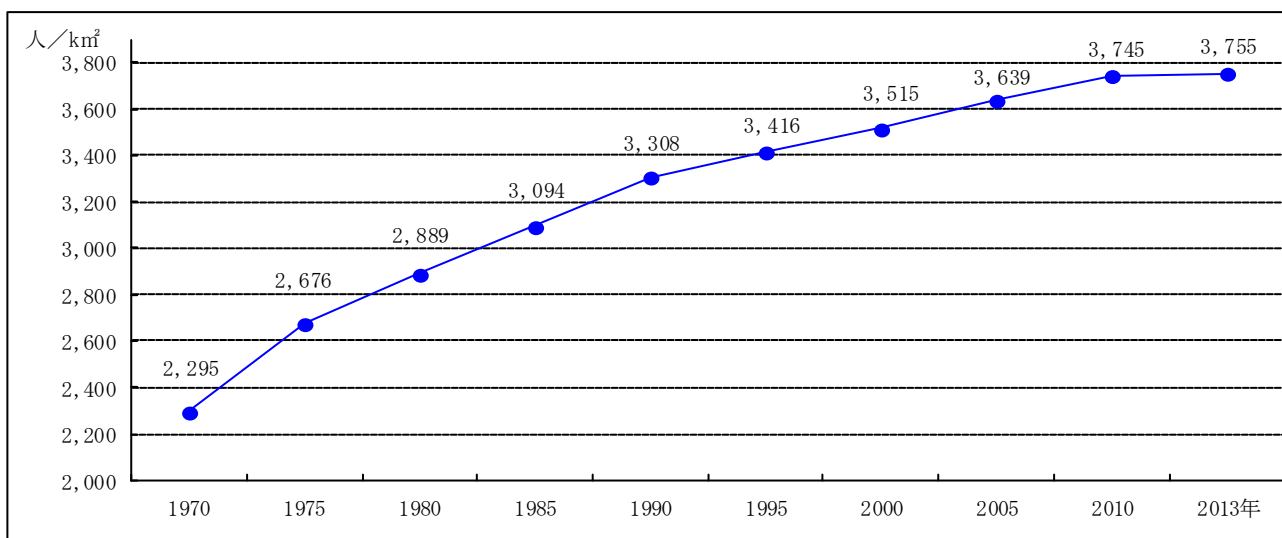
**統計情報** 国勢調査

国勢調査 [総務省統計局]  
公表周期：5年ごと  
全世界帯調査により日本の人口などを確定する最も基本的な統計調査です。

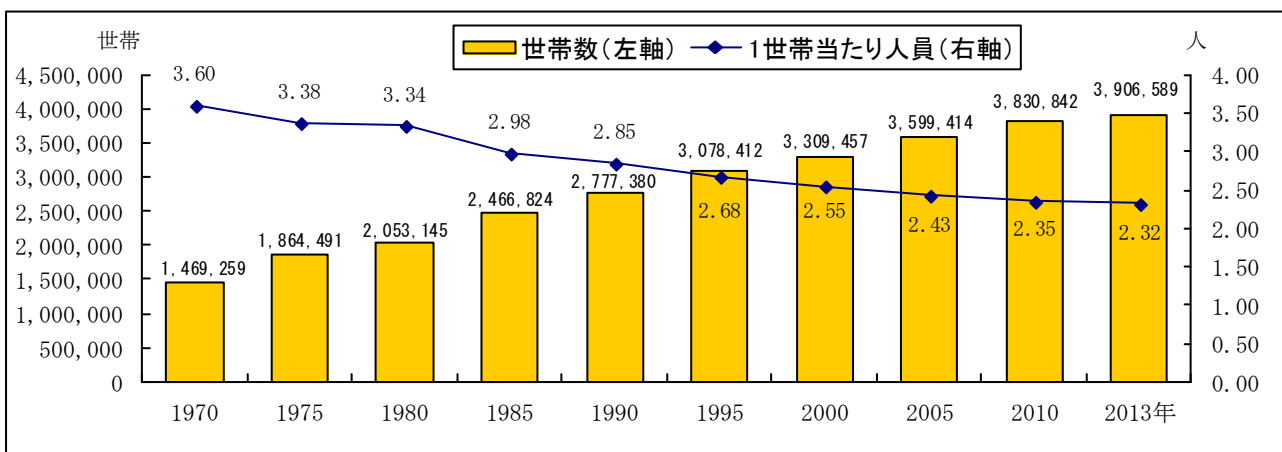
(1-01 総人口)



(1-02 人口密度)



(1-03 世帯数 1-04 1世帯当たり人員)



(1-01, 1-03, 1-04 神奈川県人口統計調査[年間集計結果])

(1-02 神奈川県人口統計調査[年間集計結果]、国勢調査)

**注釈**

1-01, 1-03, 1-04

- 1) 各年1月1日現在の数値。
- 2) 国勢調査結果を基礎とし、住民基本台帳法、外国人登録法及び戸籍法の定めによる届出を加減して算出している。

1-02

- 1) 2013年は1月1日現在、他年は10月1日現在の数値。
- 2) 人口密度=総人口/総面積(km²)
- 3) 総面積は全国都道府県市区町村別面積調[国土地理院]による。

**人口増減** 1万2276人 <sup>1-05</sup>  
**人口増減率** 0.14% <sup>1-06</sup>

**指標** 2012年中の1年間に神奈川県では、1万2276人増加しました。

2000年以降では、2011年に次いで2番目に増加数が少なくなっています。

なお、最も多い年は2001年の7万1874人です。

人口増減率は0.14%で、2000年以降では、2011年に続き増加率が低くなっています。なお、最も増加率が高い年は2001年の0.85%です。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]

**用語** 人口増減率

人口増減率=(総人口-前年総人口)÷前年総人口×100

**出生数、死亡数** 7万7079人 7万2454人 <sup>1-07</sup>  
**自然増減** 4625人 <sup>1-08</sup>  
<sup>1-09</sup>

**指標** 2012年中の1年間に神奈川県では、7万7079人が誕生しました。2000年以降では最も少ない出生数です。なお、2000年が8万4411人で最も多い出生数です。

一方、死亡数は7万2454人で2000年以降では最も多くなりました。2000年が5万1194人で最も少なく、その後、毎年増加しています。

出生数と死亡数の差である自然増減数は4625人です。これは、2000年以降で最も少なく、最も自然増減数が多い2000年3万3217人の13.9%となっています。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]

**用語** 自然増減

自然増減=出生数-死亡数

**統計情報** 神奈川県人口統計調査[年間集計結果]

神奈川県人口統計調査[年間集計結果] [県統計センター]  
 公表周期：毎年  
 県の人口と世帯は月次で公表されますが、その年間合計が年間集計結果になります。年間の人口増減とその要因がわかります。

**転入者数、転出者数** 48万7933人 48万282人 <sup>1-10</sup>  
**社会増減** 7651人 <sup>1-11</sup>  
<sup>1-12</sup>

**指標** 2012年中の1年間に神奈川県への転入は48万7933人で2011年に次いで少なくなっています。

2000年以降では、2000年の59万1245人が最も多い転入者数です。

一方、転出者数は48万282人で2000年以降で最も少なくなっています。

なお、2000年が56万7138人で最も多い転出者数です。

転入者数と転出者数の差である社会増減数は7651人です。社会増減数が最も多い2007年4万2898人の17.8%となっています。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査[年間集計結果]]

**用語** 社会増減

社会増減=転入者数-転出者数

**人口性比** 100.9 <sup>1-13</sup>

**指標** 2010年10月1日現在の神奈川県の人口性比は100.9です。1965年が106.1でしたので、45年間で5.2ポイント低下しました。

全国の人口性比は、5年ごとの国勢調査では1940年を最後に100を下回り、1965年には96.4、2010年は94.8となっています。

**この統計は** [国勢調査]

**用語** 人口性比

人口性比は女性100人に対する男性の数です。女性より男性が多いと100を超え、少ないと下回ります。

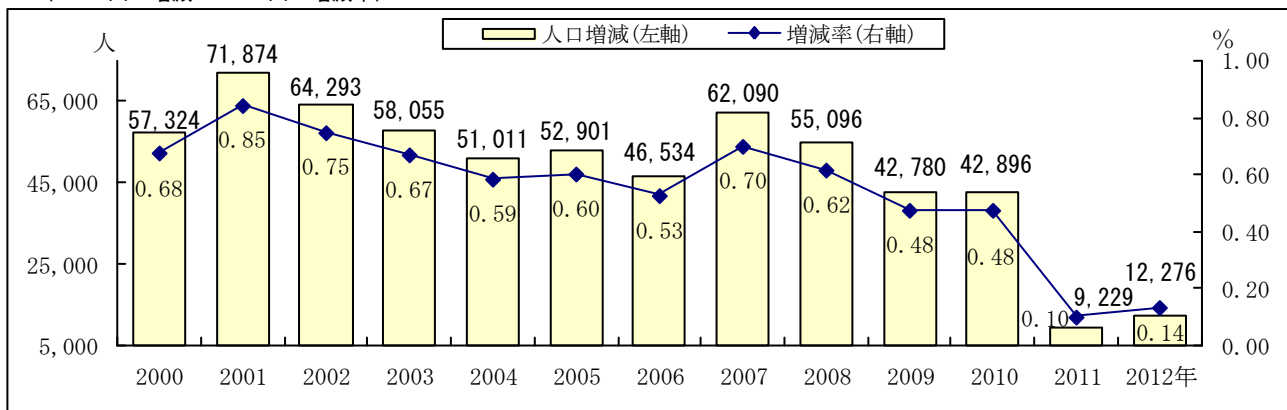
なお、男性、女性ともに総人口で比較しています。

$$\text{人口性比} = \frac{\text{男性人口}}{\text{女性人口}} \times 100$$

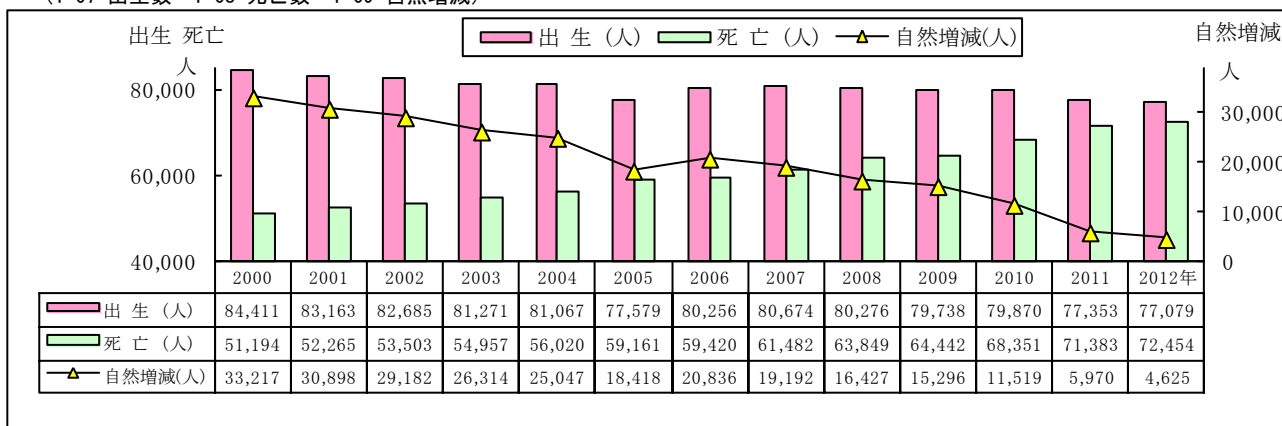
**統計情報** 国勢調査

国勢調査 [総務省統計局]  
 公表周期：5年ごと  
 全世帯調査により日本の人口などを確定する最も基本的な統計調査です。

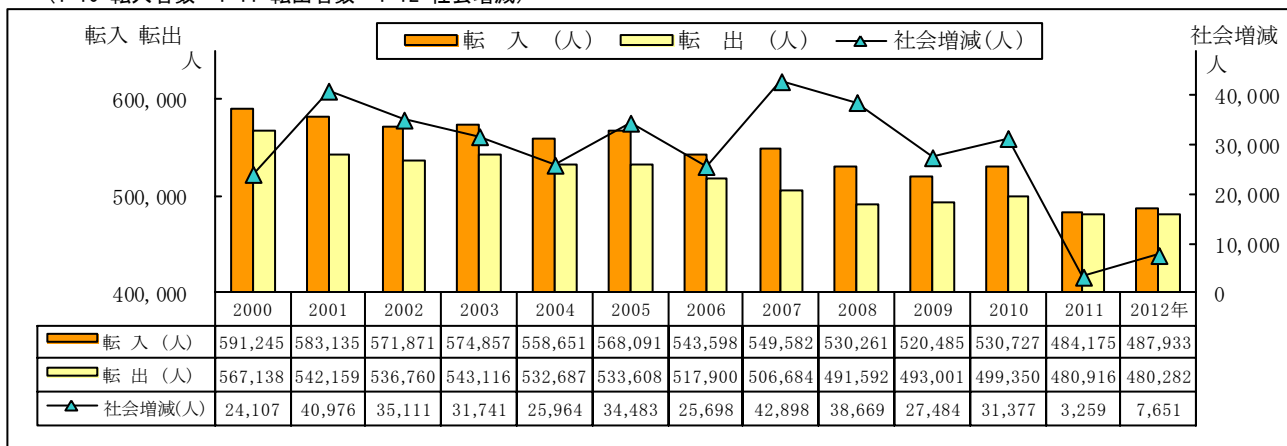
(1-05 人口増減 1-06 人口増減率)



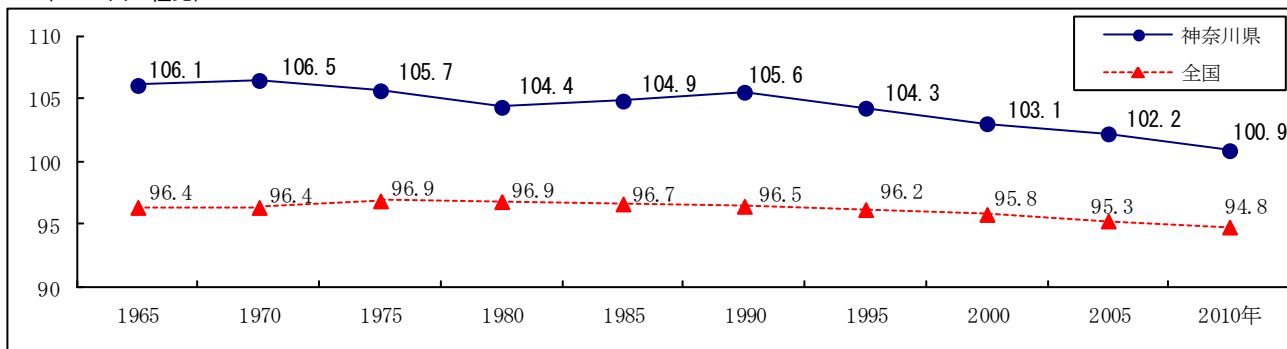
(1-07 出生数 1-08 死亡数 1-09 自然増減)



(1-10 転入者数 1-11 転出者数 1-12 社会増減)



(1-13 人口性比)



注釈

1-05~1-12

1) 各年1月~12月の数値。

1-13

1) 各年10月1日現在の数値。

(1-05~1-12 神奈川県人口統計調査[年間集計結果])

(1-13 国勢調査)

|        |        |      |
|--------|--------|------|
| 男性平均寿命 | 80.12歳 | 1-14 |
| 女性平均寿命 | 86.64歳 | 1-15 |

**指標** 2011年の神奈川県民の男性の平均寿命(0歳の平均余命)は80.12歳です。1965年が69.05歳でしたので、46年で11.07歳平均寿命が伸びたこととなります。

一方、神奈川県民の女性の平均寿命は86.64歳です。1965年の74.08歳から46年で12.56歳平均寿命が伸びたこととなります。

男女の平均寿命は一貫して女性が男性より長くなっています。1965年時での男女差は5.03歳でしたが2011年時では6.52歳とその差は広がっています。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**用語** 平均寿命、平均余命

平均寿命とは、0歳の平均余命のことを指します。

平均余命とは、x歳に達したものが、その後生存できると期待される平均年数のことで、これをx歳の平均余命といいます。

|              |      |      |
|--------------|------|------|
| 婚姻率(人口千人当たり) | 5.69 | 1-16 |
| 離婚率(人口千人当たり) | 1.88 | 1-17 |

**指標** 2011年の神奈川県の人口千人当たりの婚姻率は5.69です。46年前の1965年の12.63より6.94ポイント低下しています。

一方、2011年の神奈川県の人口千人当たりの離婚率は1.88です。46年前の1965年の0.88より1ポイント上昇しています。

婚姻率と離婚率の差ですが、1965年には11.75ポイントの開きがありましたが、2011年は3.81ポイントとなりその差は縮まっています。

**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**用語** 婚姻率、離婚率

婚姻率=年間婚姻件数/日本人人口×1000

離婚率=年間離婚件数/日本人人口×1000

**統計情報** 神奈川県衛生統計年報

神奈川県衛生統計年報 [県健康増進課]  
公表周期: 毎年

人口動態統計等から本県の出生、死亡、婚姻、離婚数などを取りまとめたものです。

|         |      |      |
|---------|------|------|
| 合計特殊出生率 | 1.27 | 1-18 |
|---------|------|------|

**指標** 2011年10月1日現在の神奈川県の合計特殊出生率は1.27です。これは、全国平均より0.12少なくなっています。

また、46年前の1965年の2.22より0.95ポイント低下していますが、6年前の2005年の1.19より0.08ポイント上昇しました。

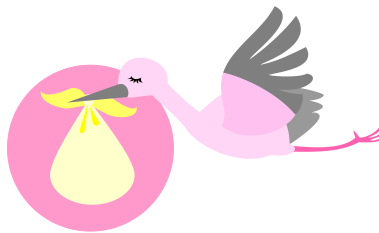
**この統計は** [神奈川県衛生統計年報]

**用語** 合計特殊出生率

合計特殊出生率は15から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{女性の年齢別人口}} \times 1000$$

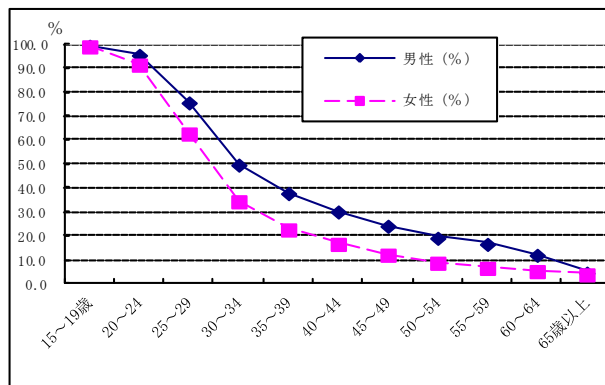
\*15歳から49歳までの合計



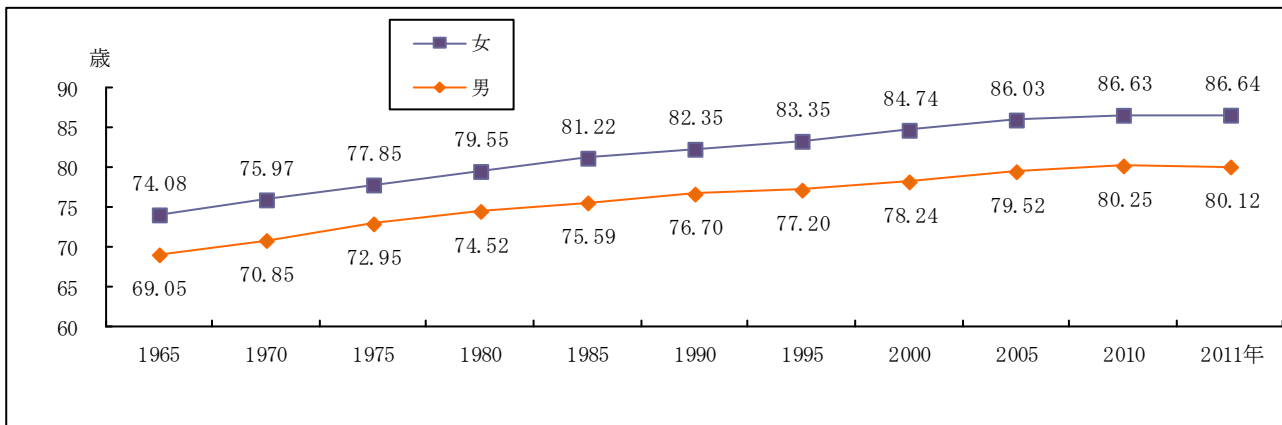
**神奈川県年齢階級別未婚率(2010年10月1日現在)**

|           | 男性(%) | 女性(%) |
|-----------|-------|-------|
| 15歳以上全世代計 | 35.5  | 25.1  |
| 15~19歳    | 99.7  | 99.4  |
| 20~24     | 95.9  | 91.8  |
| 25~29     | 76.0  | 63.0  |
| 30~34     | 50.0  | 34.7  |
| 35~39     | 38.1  | 22.9  |
| 40~44     | 30.4  | 16.9  |
| 45~49     | 24.5  | 12.4  |
| 50~54     | 19.5  | 9.1   |
| 55~59     | 16.9  | 6.9   |
| 60~64     | 12.4  | 5.6   |
| 65歳以上     | 4.9   | 4.2   |

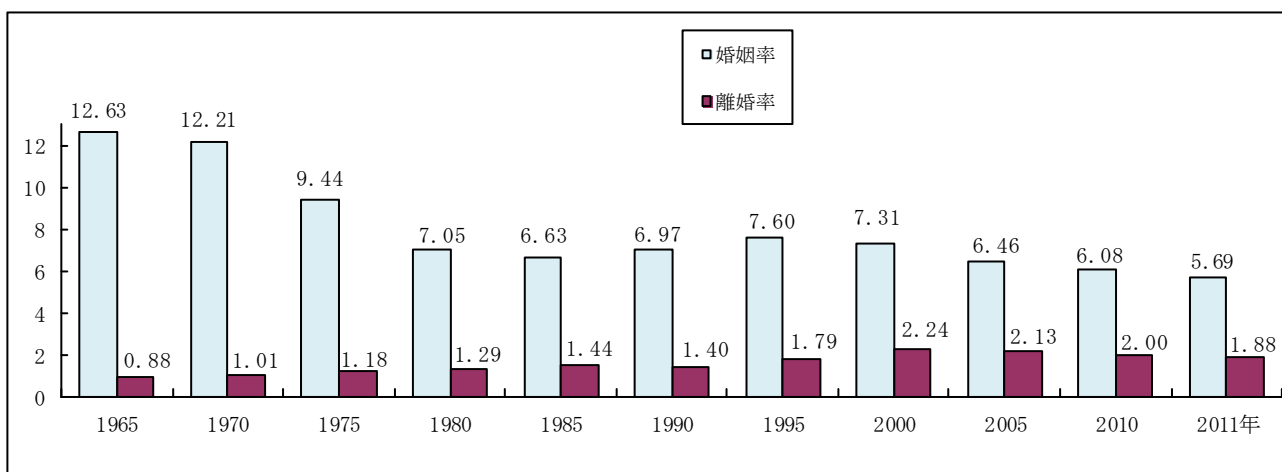
(注) 配偶関係「不詳」を除いて算出している。



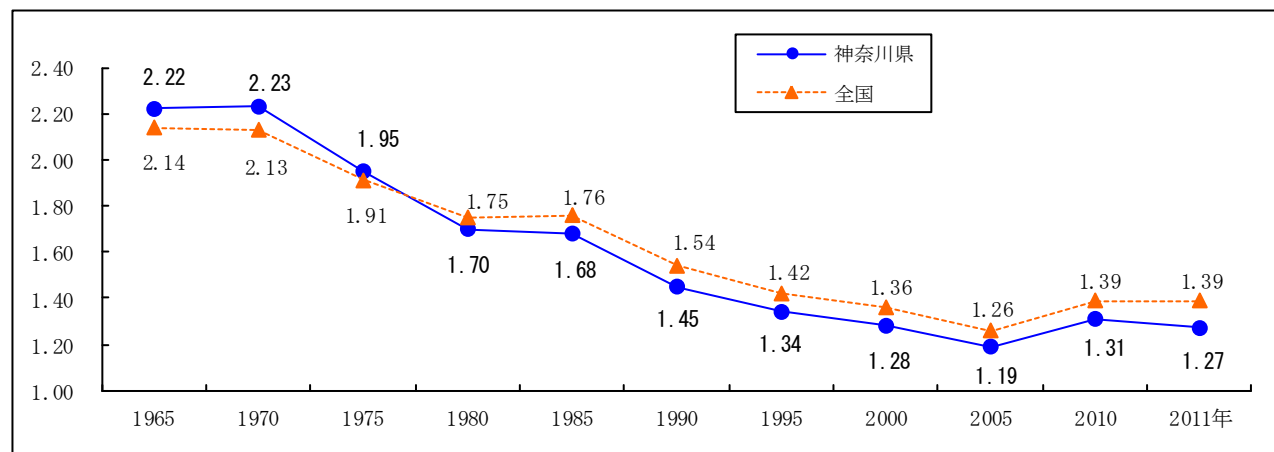
(1-14 男性平均寿命 1-15 女性平均寿命)



(1-16 婚姻率(人口千人当たり) 1-17 離婚率(人口千人当たり))



(1-18 合計特殊出生率)



(1-14~1-18 神奈川県衛生統計年報)

注釈

1-16

1) 婚姻率の小数点以下第2位は県統計センター算出。

1-16, 1-17

1) 婚姻率、離婚率の算出に用いた人口は、各年10月1日現在の日本人口を利用。ただし、1965年の数値は10月1日現在の総人口を利用。

1-18

1) 各年10月1日現在の数値。

**年少人口（14歳以下）割合** 1-19  
13.2%

**指標** 神奈川県2010年10月1日現在の年少人口割合（14歳以下の人口割合）は13.2%です。

1965年以降の国勢調査（各年10月1日現在）による年少人口割合をみると1965年から1975年までは高くなりましたが、1975年の25.5%を最高に下がり、1990年には17.3%と10%台となり、その後も低下し2010年は1965年以降で最も低い割合となりました。

**この統計は** [国勢調査]

**用語** 年少人口割合

年少人口割合 = 14歳以下の人口 / 総人口 × 100

**老年人口（65歳以上）割合** 1-21  
20.2%

**指標** 神奈川県2010年10月1日現在の老年人口割合（65歳以上の人口割合）は20.2%です。

1965年以降の国勢調査（各年10月1日現在）による老年人口割合をみると1965年の4.4%から上昇し、1995年には10%台となりその後も上昇し、2010年は1965年以降で最も高い割合となりました。

**この統計は** [国勢調査]

**用語** 老年人口割合

老年人口割合 = 65歳以上の人口 / 総人口 × 100

**生産年齢人口（15歳～64歳）割合** 1-20  
66.6%

**指標** 神奈川県2010年10月1日現在の生産年齢人口割合（15歳～64歳の人口割合）は66.6%です。

1965年以降の国勢調査（各年10月1日現在）による生産年齢人口割合をみると1965年から1980年まで低下し、その後1995年まで高くなり74.0%となりました。またその後は低下し、2010年は1965年以降で最も低い割合となりました。

**この統計は** [国勢調査]

**用語** 生産年齢人口割合

生産年齢人口割合 = 15歳～64歳の人口 / 総人口 × 100

**神奈川県の人口ピラミッド**

神奈川県の2010年10月1日現在の人口ピラミッドをみると、1947年（昭和22年）から1949年（昭和24年）までに出生した第1次ベビーブーム世代と1971年（昭和46年）から1974年（昭和49年）までに出生した第2次ベビーブーム世代の二つのふくらみがある「ひょうたん型」をしています。

また、終戦前後における出生期と1966年（昭和41年）のひのえうまの出生は、その前後の年と比べて極端に減少しています。なお、年少人口の年間出生数はこれらの時期よりも少ない出生数となっており、このままで年数が経過するとした場合、現状以上に生産年齢人口割合が減少し、老年人口割合が増加することが見込まれます。

**統計情報** 国勢調査

国勢調査 [総務省統計局]

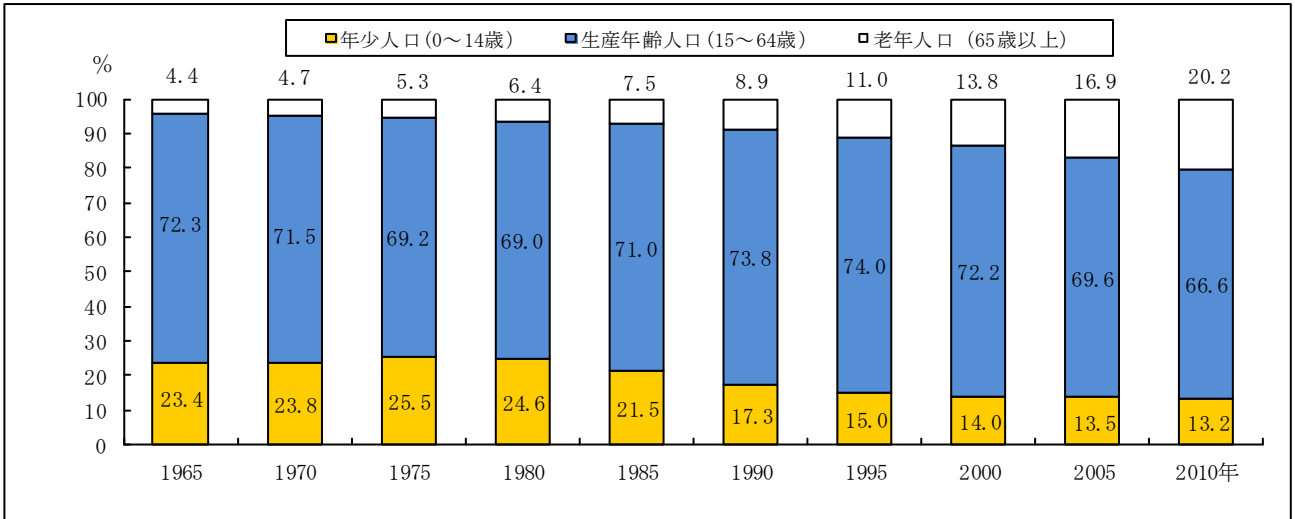
公表周期：5年ごと

全世帯調査により日本の人口などを確定する最も基本的な統計調査です。



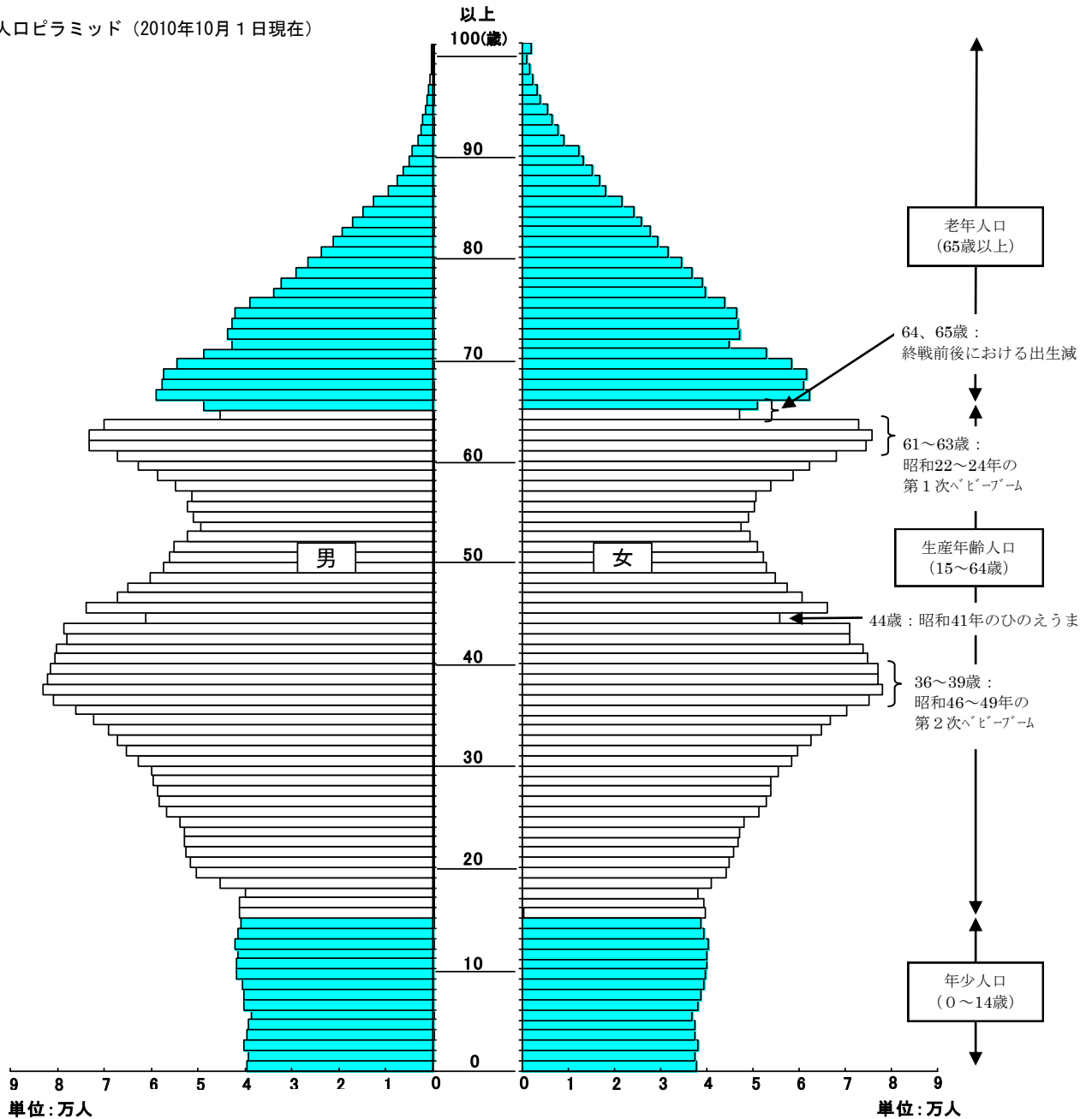


(1-19 年少人口 (14歳以下) 割合 1-20 生産年齢人口 (15歳~64歳) 割合 1-21 老年人口 (65歳以上) 割合)



(1-19~1-21 国勢調査)

●人口ピラミッド (2010年10月1日現在)



注釈

単位: 万人

単位: 万人

1-19~1-21

1) 各年10月1日現在の数値。

**県外への通勤・通学者数** 109万8907人 <sup>1-22</sup>

**指標** 神奈川県民で、2010年10月1日現在、県外へ通勤・通学している人（流出人口）は109万8907人です。この内訳は、通勤者が96万5793人、通学者が13万3114人です。

15年前の1995年に県外へ通勤・通学している人は、117万8527人で、7万9620人減少しています。なお、通勤者は2万4314人減少し、通学者は5万5306人減少しています。

（1995年：県外への通勤者99万107人、県外への通学者18万8420人）

**この統計は** [国勢調査]

**流出超過人口** 79万4138人 <sup>1-24</sup>

**指標** 2010年10月1日現在、神奈川県の流出超過人口は79万4138人です。この内訳は、通勤者が71万665人、通学者が8万3473人です。

15年前の1995年の流出超過人口は87万1821人で、7万7683人減少しています。なお、通勤者は3万8061人減少し、通学者は3万9622人減少しています。（1995年：流出超過通勤者74万8726人、流出超過通学者12万3095人）

**この統計は** [国勢調査]

**用語** 流出超過人口

流出超過人口＝流出人口－流入人口

**県外から県内への通勤・通学者数** 30万4769人 <sup>1-23</sup>

**指標** 2010年10月1日現在、神奈川県へ県外から通勤・通学している人（流入人口）は30万4769人です。この内訳は、通勤者が25万5128人、通学者が4万9641人です。

15年前の1995年に県外から通勤・通学している人は、30万6706人で、1937人減少しています。なお、通勤者は1万3747人増加し、通学者は1万5684人減少しています。

（1995年：県外からの通勤者24万1381人、県外からの通学者6万5325人）

**この統計は** [国勢調査]

**昼間人口** 825万4193人 <sup>1-25</sup>  
**昼夜間人口比率** 91.2% <sup>1-26</sup>

**指標** 2010年10月1日現在、神奈川県の昼間人口は825万4193人で、常住人口（夜間人口）の904万8331人より79万4138人少なく、神奈川の昼夜間人口比率は、91.2%です。

15年前の1995年の昼間人口は736万7037人で、常住人口（夜間人口）の823万8858人より87万1821人少なく、昼夜間人口比率は、89.4%です。この15年間で昼夜間人口比率は、1.8ポイント増加しています。

**この統計は** [国勢調査]

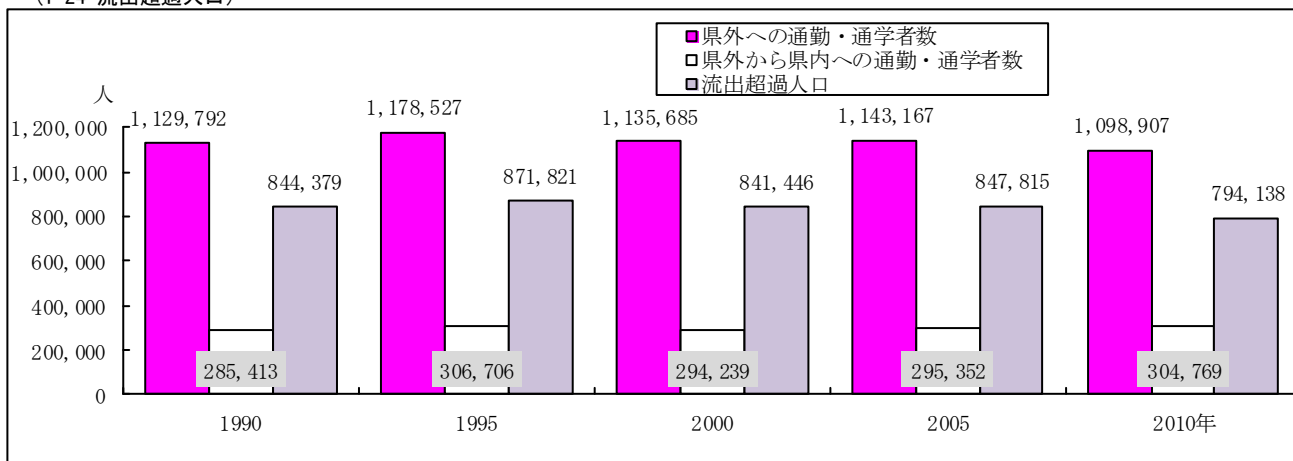
**用語** 常住人口、昼間人口、昼夜間人口比率

- ・常住人口：常住人口は、総人口と一致する。
- ・昼間人口＝常住人口－県外通勤・通学者  
＋他県からの通勤・通学者
- ・昼夜間人口比率＝昼間人口／常住人口×100

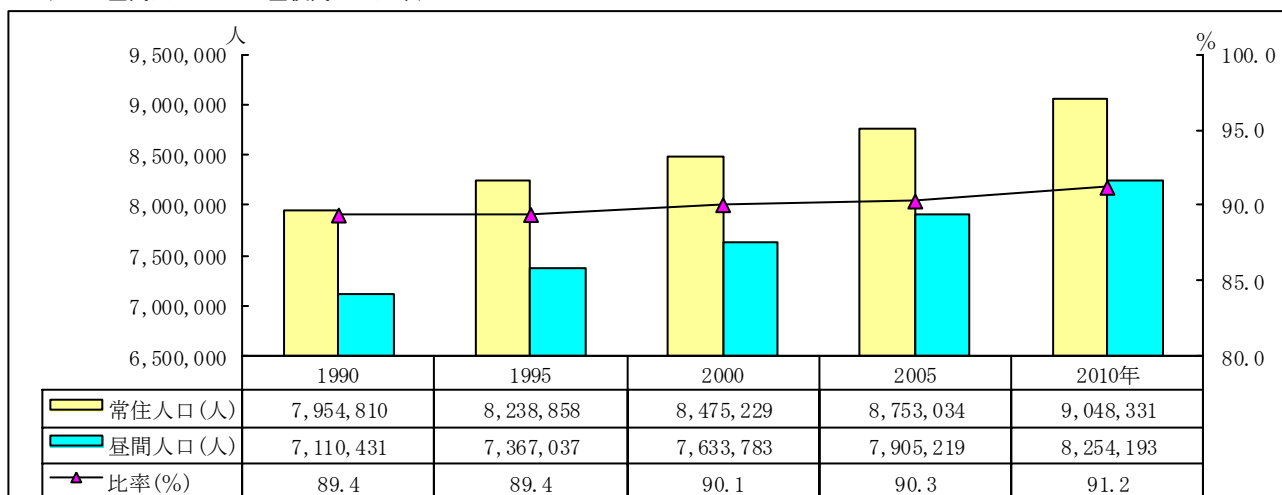
**統計情報** 国勢調査

国勢調査 [総務省統計局]  
公表周期：5年ごと  
全世帯調査により国内の人口などを確定する最も基本的な統計調査です。

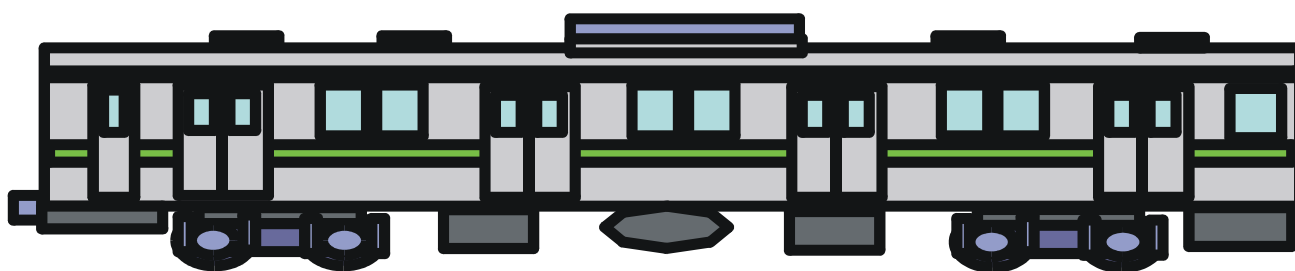
(1-22 県外への通勤・通学者数（流出口））  
 (1-23 県外から県内への通勤・通学者数（流入人口））  
 (1-24 流出超過人口）



(1-25 昼間人口 1-26 昼夜間人口比率)



(1-22~1-26 国勢調査)



**注釈**

1-22~1-26

1) 各年10月1日現在の数値。

|         |          |              |
|---------|----------|--------------|
| 外国人登録者数 | 16万7893人 | 1-27<br>1-28 |
| 外国人県民比率 | 1.9%     |              |

**指標** 2011年12月31日現在、神奈川県内の外国人登録者数は16万7893人です。

1985年に4万7279人でしたが、10年後の1995年には10万4882人と倍増（2.2倍）し、26年後の2011年には16万7893人で3.6倍となっています。

また、神奈川県民に占める比率ですが、1985年時点で0.6%でしたが、1995年に1.3%、2005年は1.8%、2011年は1.9%となっています。

**この統計は** [県内外国人登録者統計]

**用語** 県民比率

・県民比率＝外国人登録者／総人口×100

|           |     |      |
|-----------|-----|------|
| 外国人登録者国籍数 | 161 | 1-29 |
|-----------|-----|------|

**指標** 2011年12月31日現在、神奈川県内の外国人登録者の国籍数は161です。

県内の外国人登録者の増加に伴い、1985年の国籍数が100か国であったものが、1995年には153か国、2005年には166か国になりました。

**この統計は** [県内外国人登録者統計]



**統計情報** 県内外国人登録者統計

県内外国人登録者統計 [県国際課]  
公表周期：毎年  
毎年末時点の神奈川県内外国人登録者数を国籍別や在留資格、年齢別などに集計して、その推移を明らかにしています。

|            |       |         |              |
|------------|-------|---------|--------------|
| 国籍別外国人登録者数 | 中国    | 5万6096人 | 1-30<br>1-31 |
|            | 韓国・朝鮮 | 3万2372人 |              |

**指標** 神奈川県内の外国人登録者のうち、中国国籍※が最も多数となっており、2011年12月31日現在、5万6096人です。（※台湾、香港、マカオを含みます。このページ同様です。）

1995年に2万175人でしたが、10年後の2005年には4万711人と倍増（2.0倍）しています。

韓国・朝鮮が次に多い国籍で、2011年12月31日現在、3万2372人です。

1995年に3万2960人でしたが、2011年は588人減少しています。

他の国籍では、2011年12月31日現在フィリピン1万8426人、ブラジル1万257人、ペルー7459人の順で多くなっています。

**この統計は** [県内外国人登録者統計]

|              |       |       |              |
|--------------|-------|-------|--------------|
| 国籍別外国人登録者構成比 | 中国    | 33.4% | 1-32<br>1-33 |
|              | 韓国・朝鮮 | 19.3% |              |

**指標** 神奈川県内の外国人登録者のうち、中国国籍者の構成比は、2011年12月31日現在で33.4%です。

1990年17.8%でしたが、10年後の2000年には22.2%、15年後の2005年には25.8%となり、その後も構成比率は高くなっています。

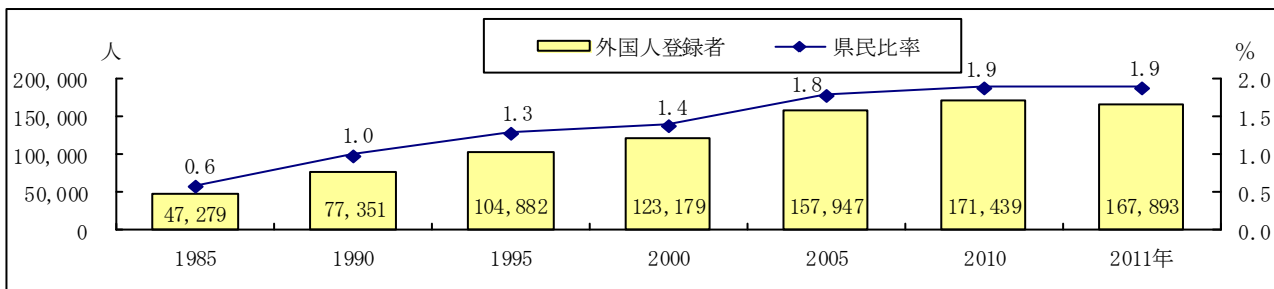
韓国・朝鮮国籍者の構成比は、2011年12月31日現在で19.3%です。

1990年43.2%でしたが、10年後の2000年には27.2%、15年後の2005年には21.7%となり、その後も構成比率は低くなっています。

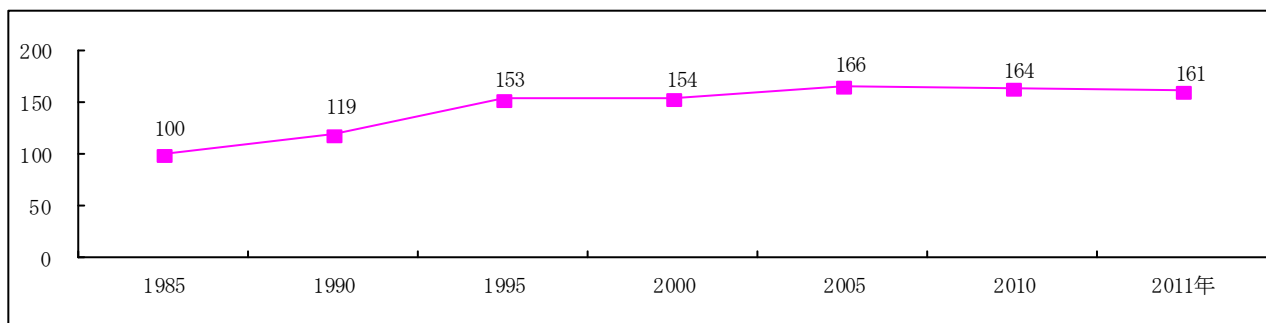
他の国籍では2011年12月31日現在フィリピン11.0%、ブラジル6.1%、ペルー4.4%が高い構成比率です。

**この統計は** [県内外国人登録者統計]

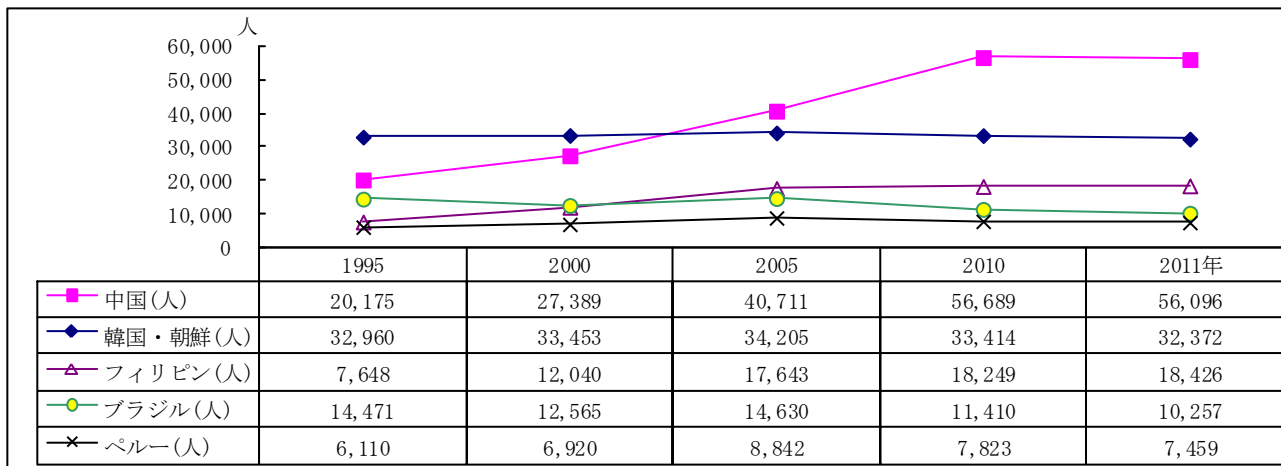
(1-27 外国人登録者数 1-28 外国人県民比率)



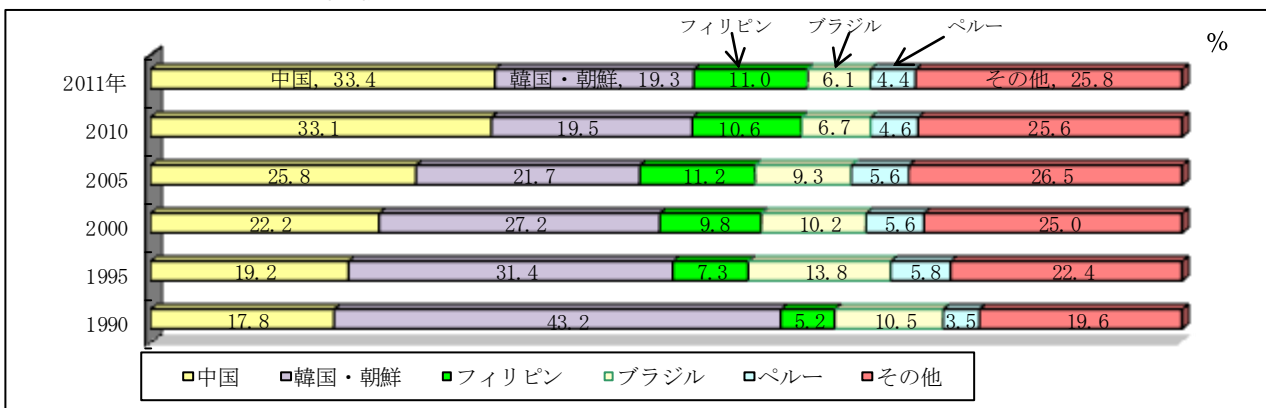
(1-29 外国人登録者国籍数)



(1-30、1-31 国籍別外国人登録者数)



(1-32、1-33 国籍別外国人登録者構成比)



注釈

1-27~1-33

- 1) 各年12月31日現在の数値。
- 2) 中国には、台湾、香港、マカオを含む。

(1-27~1-33 県内外国人登録者統計)

# 人口編からのクイズ

## かながわ

### Q&A



- Q 1 1970年1月1日現在、神奈川県は、約529万人でしたが、2013年1月1日現在ではおよそ何人？
- ① 500万人
  - ② 700万人
  - ③ 900万人
- Q 2 1970年1月1日現在、神奈川県は、1世帯あたり人員は、3.60人でしたが、2013年1月1日現在では何人？
- ① 3.32人
  - ② 2.32人
  - ③ 1.32人
- Q 3 2012年中の1年間の神奈川県の社会増減（転入者数－転出者数）は何人？
- ① 4万2898人
  - ② 3259人
  - ③ 7651人
- Q 4 2010年10月1日現在、神奈川県は人口性比はいくつ？
- ① 106.5
  - ② 94.8
  - ③ 100.9
- Q 5 2011年の神奈川県民の男性の平均寿命は何歳？
- ① 79.52歳
  - ② 80.12歳
  - ③ 86.64歳
- Q 6 2011年の神奈川県の合計特殊出生率は次のどれ？
- ① 1.19
  - ② 1.27
  - ③ 1.31
- Q 7 2010年10月1日現在、神奈川県民の15歳～64歳の人口割合は何パーセント？
- ① 72.3%
  - ② 73.8%
  - ③ 66.6%
- Q 8 2010年10月1日現在、県外へ通勤・通学している神奈川県民はおよそ何人？
- ① 96万6千人
  - ② 99万人
  - ③ 109万9千人
- Q 9 2010年10月1日現在、県外から神奈川県内へ通勤・通学している方はおよそ何人？
- ① 28万5千人
  - ② 29万4千人
  - ③ 30万5千人
- Q 10 2011年12月31日現在、統計上の神奈川県内の外国人はおよそ何人？
- ① 4万7千人
  - ② 12万3千人
  - ③ 16万8千人
- Q 11 2011年12月31日現在、統計上の神奈川県内の外国人上位5国籍のうち、2位はどこ？
- ① 中国
  - ② 韓国・朝鮮
  - ③ フィリピン

答えは68ページ